

第 9 次行政改革大綱（R3～R6）の進捗状況について

【結論】

第 9 次行政改革大綱の 2 年目となる令和 4 年度の進捗状況を報告する。

1 概要

(1) 事業の進捗状況

第 9 次行政改革の 2 年目となる令和 4 年度では、全 55 事業の内、「完了」は 1 事業増え、6 事業（10.9%）となった。また、1 件が検討終了となった。

残りの事業については、継続的に取組中。

	3 つの柱			合計
	公共施設等	業務カイゼン	人財・組織	
完了	1	4	1	6
取組中	17	18	13	48
検討終了	0	1	0	1
未着手	0	0	0	0
合計	18	23	14	55

(2) 令和 4 年度の経費削減の成果

目標額（4 年間）	令和 3 年度	令和 4 年度	合計
△ 180,000 千円	△ 12,438 千円	△ 23,918 千円	△ 36,356 千円

【令和 4 年度削減内容】

No.	事業名	担当課	削減額	内容
16	道路照明灯の LED 化	道路河川課	△21,505 千円	1,545 灯 LED 化 (R3) 電気料金削減
17	公園等照明灯の LED 化	緑化公園課	△402 千円	601 灯 LED 化 (R3～4) 電気料金削減
24	地区事務所体制の見直し	市民課	△2,011 千円	共栄事務所廃止 (R3) 高田郵便局に委託

2 令和4年度完了事業について

No.	基本方針	事業名	担当課
	取組内容		
26	行政サービス等の見直し	90歳敬老事業の食事会の見直し	高齢福祉課
	食事会を廃止し、観覧形式の敬老会を開催。		

3 令和4年度検討終了事業について

No.	基本方針	事業名	担当課
	検討終了理由		
35	電子化の研究・導入	本会議会議録作成委託料削減の研究	議会事務局
	①委託事業者の作業内容上、音声自動認識システムによる効率化のメリットは少なく、本会議会議録作成委託料削減は困難。		
	②本会議会議録調整については、事務局職員の事務の効率化の観点からも現状の業務委託が最善と判断。		
	③委員会会議録、議会だより原稿等、自前で文面を作成する際には引き続き音声自動認識システムを利用するとともに、より精度の高いシステムについて研究する。		